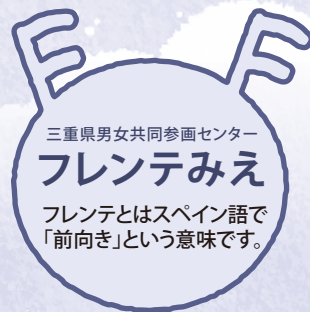


Frente



2022.2
vol.88

特集!

フレンテ的

『SDGs』入門

まちも、あなたも、持続可能であるように。

特集!

- 荻原くるみの「紹介したいまち!」
最終回 福岡県 嘉麻市
- フレンテスタッフエッセイ 最終回
おうち時間「心のありよう
～春は新しい始まりの季節～」

事業報告

- 種まきプロジェクト「地域」編
“話し合い”を前にすすめるために
- 女性に対する暴力防止セミナー
「これからの男の子たちへ」

事業案内

- “微毒”親 ～時々しんどい母との関係～
- 男女共同参画フォーラム ひと
～みえの男女2022～

ほか



『SDGs』入門

最近いたる所で目にするようになった『SDGs』。いま、急激にその認知度が高まってきています。

とはいえ、どこかで目にしたことがあっても SDGs にはどんなことが書かれているのか、その内容まで知っている人はまだまだ少ないかもしれません。SDGs の中にはフレンテみえが特に皆さんにお伝えしたいことも含め、これからの時代を生きていく私たちが知っておくべき大切なことがたくさん示されています。

そこで今回は「フレンテ的 SDGs 入門」と称して、SDGs をフレンテ的視点で紹介します！

SDGs とは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴール（目標）、169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本も積極的に取り組んでいます。

（外務省ホームページより抜粋）

● 日本の SDGs 達成度は・・・

毎年、SDSN（持続可能な開発ソリューション・ネットワーク）とベルテルスマン財団が共同で、世界各国の SDGs 達成度ランキングを発表しています。2021 年に発表された順位によると、日本は 165 か国中、第 18 位となっています。



目標 5 「ジェンダー平等を実現しよう」にはどんなことが書かれているの？

SDGs の 17 のゴール（目標）の中には、「ジェンダー平等を実現しよう」という目標があります。また SDGs にはその目標ごとにいくつかのターゲット（それぞれの目標のさらに具体的な達成目標や、実現するための方法など）が示されています。

目標 5 「ジェンダー平等を実現しよう」には以下のようなターゲットが示されています。

- ① すべての女性に対するあらゆる差別をなくす。
- ② すべての女性へのあらゆる暴力（女性を売り買いしたり、性的な目的などで一方的に利用すること）をなくす。
- ③ 子どもの早すぎる結婚、強制的な結婚、女性を傷付けるならわしをなくす。
- ④ お金が支払われない家庭内の子育て・介護や家事などはお金が支払われる仕事と同じく大切な「仕事」であるということを、公共のサービスや制度、家庭内の役割分担などを通じて、認めるようにする。
- ⑤ 政治・経済・社会の中で何かを決める場に、女性と男性が同じように参加したり、リーダーになったりできるようにする。

（内閣府男女共同参画局「みんなで目指す！SDGs×ジェンダー平等」より）

上にあげたものの他、女性のエンパワーメント（能力強化）促進のため、インターネットなどの技術活用の強化などもあげられています。

日本のジェンダーを巡る状況はやはり深刻

先ほど出てきた世界各国の SDGs 達成度ランキングが記されているレポートには、順位だけでなく、各目標の達成度が 4 段階に色分けされ、評価されています。

評価の高い物から順に

- 緑：SDGs が達成できている
- 黄：課題が残っている
- オレンジ：重要な課題が残っている
- 赤：最大の課題

この目標別達成度で、日本が過去 5 年間ずっと最低の「赤」の評価になっている、日本の大きな課題と言える目標は下の 3 つです。

目標 5 ジェンダー平等を実現しよう

目標 13 気候変動に具体的な対策を

目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう

この指標をみても、やはり日本はジェンダーを巡る状況がとても深刻であると言えます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Sustainable (サステナブル) …「持続可能な」「持ちこたえられる」

Development (ディベロップメント) …「開発」「発展」「進展」

Goals (ゴールズ) …「努力などの目標点、最終目的」「競技の決勝線、決勝点」

複雑に関係しあう SDGs の目標

SDGs の 17 の目標に掲げられているような社会課題は、それぞれが複雑に関係しあい、多様な要素が分野を超えて影響しあっています。ある一つの課題を解決しようとした行動によって、別のある要素を犠牲にすることもあります。そういったことは避けなければいけません。逆に、ある一つの社会課題を解決することで、複数の目標を同時に達成することに繋がることもあります。

例えば・・・



貧困 × ジェンダー平等

女性の貧困問題として、男性よりも多い非正規雇用、シングルマザー、高齢女性の貧困などがあげられている



教育 × ジェンダー平等

「女性の進学はそこそこでいい」「理系より文系」といった固定観念など、学びたいという女性の意欲を阻害する社会的要因がまだに日本に存在している現状がある



働く × ジェンダー平等

家事・育児は女性がすべきなどの社会・企業の意識が、女性が働きづらい環境、女性リーダーが少ない、男性育休取得率の低さにつながっている

ご存じですか？三重県 SDGs 推進 パートナー登録制度

三重県内における企業や団体等の SDGs に向けた取組を見える化し、県が後押しすることで、持続可能な社会の実現に向けた取組を広げていくことを目的とした制度です。

登録の対象・・・県内に事業所などを置く法人、団体または個人事業主など

登録はこちらから



SDGs のための行動を続けよう！

SDGs のポイントは「持続可能性」。「SDGs のためにいいことをしよう」と思ったとき一度きりの行動にするのではなく、行動を継続することが大切です。

今、さまざまなメディアで SDGs に関する情報が発信されています。そんな情報を見てみて、小さなことでもいいので、どんなことなら SDGs のために継続的に行動することができるか、考えてみませんか。

SDGs のことについてもっと調べてみたい！ という方はこちらから

国際連合広報センター公式サイト



https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

JAPAN SDGs Action Platform

(外務省の SDGs ページ)



<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

日本ユニセフ協会 HP 「SDGs CLUB」



<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/>

令和3年度 フレンテみえ種まきプロジェクト | “地域”編 「話し合いを前にすすめるために」

開催日

7月31日~12月11日

土

土

地域や家庭、働く場、意思決定の場などで活躍するこれからの男女共同参画社会づくりに必要な人“財”を育成する「種まきプロジェクト」。

“地域”編2期目は、地域と関わり、物事をすすめていく中で欠かせない「話し合い」に焦点をあて、5回にわたって色々な角度から学びました。定員の3倍ものお申込をいただき、講師と相談の上、急遽定員を拡大して開催。テーマへの関心の高さがうかがえました。

第1回目は、「地域活動あるある座談会」。講師にNPO コチカラ・ニッポン代表の川島高之さんをお迎えし、地域での話し合いの「あるある」話や悩みごと、どうやって解決したかなどについて、みんなでわいわい話し合いました。川島さんはオンラインでの出演となりましたが、温かくも的確な素晴らしい進行で、受講生からも「川島さんの話し合いの進め方がとても参考になった」との声がありました。また、県内で活躍する女性リーダーにもロールモデルとして参加いただき、その姿からも刺激をいただきました。

第2・3回目はフレンテみえ職員講師のもと、「アサーティブ」というコミュニケーションの方法について学びました。「女性は自分の意見を押しやせて相手に合わせがちな人も多い。相手を尊重しながら自分の意見も大切に、伝えてみよう」というお話の後、これまで経験してきたコミュニケーションを例にワークを実践。「難しいが地域でもぜひやってみよう」との声をいただきました。

第4・5回目は「ファシリテーション、合意形成」。講師 水谷香織さん（パブリック・ハーツ(株)代表取締役）の具体的でわかりやすい説明とワーク、「みなさん、素晴らしい!なのでもっと難しいことをします」とのお声かけで、受講生がどんどん自分の力をのびのびと発揮し、前向きに積極的に話し合いに参加されていく姿が印象的でした。

コロナ禍でオンラインを織り交ぜながらの実施となりましたが、受講生のみなさんが5回の講座を通して共に学び、つながり、刺激を受け合いながらの修了となりました。みなさんの今後の地域でのご活躍を応援しています!



フレンテみえ「女性に対する暴力防止セミナー」 これからの男の子たちへ

開催日

11月23日

火祝

内閣府「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11/12~25)に合わせて毎年開催している講演会。今回は、ベストセラー「これからの男の子たちへ」の著者である弁護士の本田啓子さんを講師にお迎えしました。(リモート出演)

離婚案件を担当している弁護士の間では、「モラハラ夫の養成専門学校があるんじゃないか」と話題になるほどDV加害者である夫たちはよく似ているそうです。性別による深刻な経済力の差や、性別役割分担意識が根深く残っている社会構造があるゆえに、DVや性暴力の加害者となることに繋がっていると、グラフや動画を交えながらわかりやすく説明していただきました。「このような社会の中では、子どもが性差別意識を持ってしまうのは当然の成り行きであるから、まず大人が自分自身のなかにある性差別意識に気づき、そぎ落とし、子どもに引き継がせない意思が必要である」と語られました。

参加者からは、「子どもの頃から性について正しく学べる環境を大人が整えたい」「男子の特権意識を変えていけるような社会を作っていきたい」などの感想をいただきました。



事業予告

6/12

“微毒”親 ～時々しんどい母との関係～



「毒親」と聞くと、どんな親を思い浮かべますか？
一般的には、虐待、ネグレクト、暴力や暴言による支配など、子どもにとって「毒」になる親のことを言います。このような深刻な毒親ではないけれど、母親との関係に悩んでいるという方は少なくありません。「普通の家庭だったと思うけれど…」、「実家に帰ると母に気を遣い、心が休まらない」、「母がどう思っているかいつも気になる」、「できない自分を責められているようで辛かった」、「なぜ母はあんなに厳しかったんだろう」、「なぜ母はいつも不機嫌なのだろう」…こんな気持ちや疑問を感じたことはありませんか？毒親とまでは思わないけれど、母との関係にもやもやしたものがあるという方に向けた講座です。

母娘関係の第一人者である、フェミニストカウンセラー加藤伊都子さんのお話を聞き、もやもやの正体を一緒に考えてみませんか。

日時 6月12日
13:30～15:30

会場 三重県総合文化センター内
三重県文化会館2階 大会議室

対象 県内在住・在勤・在学の女性

定員 50名

講師 加藤 伊都子さん
(フェミニストカウンセリング堺フェミニストカウンセラー)

託児 あり 要事前申込
1歳6ヶ月～小学3年生程度
子ども1人につき500円
託児申込締切5/29

参加
無料

3/5

男女共同参画フォーラム～みえの男女2022～ いまこそ身軽に、シンプルに 「本当の“あなた”になる」

同時開催：第34回 農山漁村のつどい



トークイベントゲスト
犬山 紙子 さん
(イラストエッセイスト)

コロナ禍でだれもが感じた“これまでと同じようにできない”ストレス。その背景には、「〇〇は〇〇するもの・すべきもの」など、様々な「固定観念への囚われ」が感じられます。

あなたは女性？男性？ 母親？父親？ …そのあなたは『本当の自分』？

今年度の『男女共同参画フォーラム』は、ウイズコロナの時代だからこそ、女性はもちろん男性も、もっと身軽にシンプルに、本当の“あなた”で「自分らしく」生きるために必要なこと、大切にしたいことについて、イラストエッセイストの犬山紙子さんをお迎えし、たっぷりとお話をうかがいます。

他にも「第34回農山漁村のつどい」など様々なテーマの分科会やパネル展示も開催。皆さまのご参加をお待ちしています！

日時 3月5日土
10:00～15:30

ホールイベント13:30～15:30

会場 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」
1階 多目的ホールほか

対象 テーマに関心のある方、ジェンダー平等や女性のエンパワーメントを願う男女(ひと)

定員 150名程度

主催 三重県、(公財)三重県文化振興事業団

共催 「第34回農山漁村のつどい」実行委員会

※今後の感染状況により、日程・会場の変更や「オンライン」での実施、または事業が中止となる場合がございます。変更が生じた際はお申込みの皆さまへ個別にお知らせいたします。最新の情報は、フレンテみえホームページでご確認ください。

参加
無料

要事前申込
(先着順)

講師派遣事業

「フレンテトーク」

フレンテみえでは、皆さんのところへフレンテ職員が伺い男女共同参画についてお話する講師派遣事業「フレンテトーク」を実施しています。

今年度も北は桑名市、南は紀宝町まで三重県内の至る所で、そしてオンラインでも実施。2021年は東京オリンピックをきっかけに、社会的に「ジェンダー平等」への関心がさらに高まったことを受けて、特に秋以降に多くのお申込みをいただきました。最近では学校関係機関からのご依頼も増えており、学生・生徒さんの前でお話する機会をたくさんいただいています。若い方からの率直な反応に、むしろ職員側が学びを得ることも多いです。

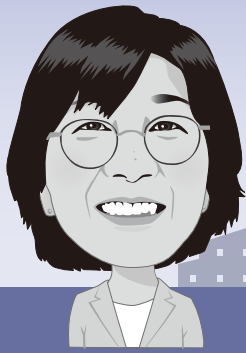
多い年では年度間100回以上、ハラスメントやワーク・ライフバランス、防災・減災や性的マイノリティについてなど様々なテーマで実施している「フレンテトーク」。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、多くの人が一堂に会して研修を行うことが難しい状況が続いていますが、オンライン形式や、参加者を分散しての複数回実施の対応も可能です。研修や人権学習をお考えの学校・団体・企業の皆さま、ぜひお気軽にお問い合わせください！



「フレンテトーク」のご案内はこちら！

<https://www.center-mie.or.jp/frente/event/study>





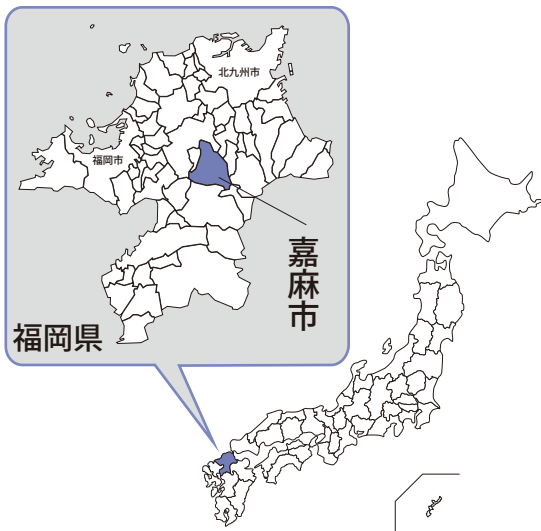
フレンテみえ所長の荻原が、皆さんにぜひ知っていただきたい「まち」を紹介するシリーズ。第4回(最終回)は、学校でのジェンダー教育を実践する「福岡県嘉麻市」をご紹介します!

フレンテ所長
荻原くるみの

紹介したいまち!

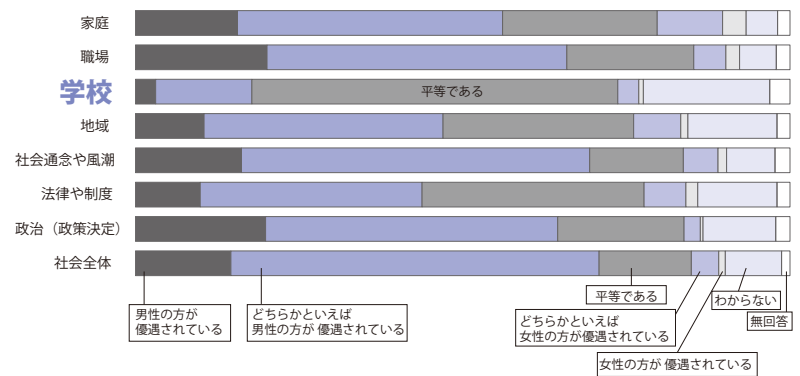
最終回 福岡県嘉麻市

三重県では、5年ごとに県民の皆さんに「男女共同参画に関する県民意識と生活基礎調査」を実施しています。その中でも、学校は、地域や社会通念や職場等に比べ比較的平等なところであると答えている人の割合が高く、これまで長年教職員を経験してきた自分としては、「学校は平等」と肯定的に感じていました。ところが、昨年度文部科学省が作成した「学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム」を見て唖然としました。実は長年にわたり私たちは学校で、若い子どもたちに知らず知らずのうちに、「男性優位」とか「男性が管理職」という光景を見せつけてきたのではないかという思いでした。そんなことから、フレンテみえでも若い世代に男女共同参画の啓発を積極的に推進していきたいと考えています。そんなとき目に映ったのがNHK福岡放送局の番組です。福岡県嘉麻市は、県の中央、ちょうど「福岡県のおへそ」に位置する自然豊かで農業が盛んなまち。そこでは、ほとんどの小中学校で「ジェンダーバイアス」について考える授業を行っているそうです。さっそく嘉麻市男女共同参画推進課長の佐伯さんにお話を伺いました。



令和元年度男女共同参画に関する県民意識と生活基礎調査(令和2年3月)

男女の地位の平等感 学校以外の社会における男女の地位は、男性優遇感が高くなっています。



■ 小中学校でジェンダーバイアスを考える授業を全市規模で行っている自治体はまだ少ないと感じています。何か、きっかけがあったのでしょうか?

次世代に男女共同参画推進の大切さを伝えようと、「嘉麻市男女共同参画推進条例」の小学校高学年向けパンフレットを作成したのがきっかけです。2016年、長年嘉麻市の男女共同参画の推進にご尽力いただいている市民団体「かま男女共同参画推進ネットワーク」(以下、かまネット)の方々にパンフレット制作の協力をお願いしました。かまネットの皆さんは、私たちが考える以上に熱心で、「思い」を込めてしっかり検討していくためのプロジェクトチームを立ち上げることになりました。当時教育委員会事務局に転入された指導主事宮脇先生にも参加いただき、通算11回の会議を経て、パンフレット原案が出来ました。子どもに伝えるためのデザインに苦心しましたが、いろいろなつながりで地元のイラストレーターの協力を得ることができました。イラスト原案が出来上がって、宮脇先生にご覧いただいたとき、「これは授業がしやすい、授業展開が目につかぶ」と原案のページを楽しそうにめぐってくださったのが、とても印象深く残っています。そうして、2年かけて、2018年1月にパンフレットを発刊しました。

■ 市の男女課と、市民団体、教育委員会が連携して作成されたということですね。パンフレットを拝見しました。とても分かりやすく、「学ぼう そして行動しよう」というタイトルも素敵ですね。このパンフレットが、学校で教材として活用されているのでしょうか?

はい。嘉麻市全小中学校の教職員に配布し、毎年小学校5年生にも配布しています。教育委員会でも、このパンフレットの活用について検討いただき、その後も毎年、情報共有するための話し合いを継続しています。2018年度中にパンフレットを活用した授業を実施したのは数校だったようです。授業のいくつかは、男女課やかまネットの委員が参観し、授業の報告もいただきました。教育委員会では、授業を実施した教員が作成した「ワークシート」を集約して学校に共有し、2019年度からは「授業実践事例」を作成・配布してくださっています。2019年には、小学校全校、中学校5校中3校が、このパンフレットを利用したジェンダーバイアスを考える授業を行ったと聞いています。教育委員会の協力には、本当にありがたく思っています。

そして、この「学ぼう そして行動しよう」のタイトルは、かまネットの皆さんが熟考くださったものです。本当に、このタイトルのように、子どもたちには「学んで行動して」もらいたいと願っています。



高崎市 男女共同参画推進条例「学ぼうそして行動しよう」イラストは、高崎市のイラストレーター まるやまももこさん。



高崎市教育委員会が作成した「授業実践事例」。実際に授業で使用されたワークシートや授業の流れ、パンフレットの参照箇所、児童の感想などが具体的に掲載されている。

■パンフレットを作った終わりではなく、その後の活用まで踏み込んで関わることで、実際の授業につながっているのですね。実際には、どのような学年で、どんな授業で活用されているのでしょうか。

小学校高学年での授業が多いかと思いますが、幅広い学年で活用されている学校もあるようです。教科も様々だと聞いています。「授業実践事例」を見ますと、例えば、小学5年生の家庭科の中で、食事を準備する人に着目して家庭内の仕事が女性に偏っている実態に気づき、性別による固定的役割分担を考える授業。小学6年生の社会科では、基本的人権を学ぶ中で日本のジェンダーギャップ指数や自分の市の男女共同参画推進条例に触れ、性別に関係なく協力していくことを考える授業。低学年では、小学2年生の学級活動で絵カードを使って「男らしさ」「女らしさ」のジェンダーバイアスに気づく授業。中学校でも、憲法と人権の授業や、技術・家庭科の授業等で活用された事例があるようです。

先進的に取り組んでいる学校がある一方、やはり学校間格差や教員格差があるとは聞いています。先ほど挙げた「授業実践事例」を教育委員会が配布してくださったので、はじめてジェンダーの授業を検討する教員には、具体的な助けになっているのではないかと思います。



授業の様子(2018年) 子どもたちがパンフレットを開いて授業に臨んでいる

■ダイレクトにジェンダーバイアスを学ぶ授業だけでなく、学年や教科をこえて、さまざまな授業でジェンダーを考える要素を取り入れているのですね。こどもたちの反応はいかがですか？

実際の生徒の感想をご紹介します。「男がするとおもっていたやきゅうとかサッカーをやってみたいです。(2年生)」「今まではお母さんが朝ごはんの準備をしていたのでこれからは自分でしたいと思います。(5年生)」「男の人だけの意見、女の人だけの意見だけを通さず、おたがいを認め合い、たがいに協力しあう事を忘れないように生活したいと思います。(5年生)」「どんな人でも相手のことを知って認め合う。いろんな人と人が支え合い、助け合うことが大切だと思った。(6年生)」授業を通してそれぞれが気づきを得、男女共同参画について考える姿勢がみられます。

■手ごたえのある取組だと思えます。成功の秘訣は、なんだと思われませんか？

かまネットの皆さんの熱意がとても大きいです。熱心に粘り強く、私たちが日々叱咤激励されています。団体紹介を兼ねて市の広報誌に特集してもらったところ、その年度にかまネットは令和2年度の福岡県男女共同参画表彰を受賞しました。受賞理由はやはり、このパンフレットへの働きかけでした。かまネットと教育委員会と協働でパンフレットを作ることができたことで、その後の授業展開へ結びついています。そのことが県の表彰にもつながり、今回の取材にもつながり、大変うれしい限りです。

また、授業のほかにも、小中学校のすべてで実施している男女混合名簿を高校にも広げたり、小学校の通学帽や中学校の制服について、男女別ではなく生徒それぞれが自由を選べるよう提案するなど、話し合いを継続しています。今後も、市民団体の熱い思いの橋渡しを教育委員会に行っていきたいと思っています。ともに、学校を盛り立てて、ジェンダー平等を実践する子どもに成長してほしいため、連携を惜しみません。

行政と教育委員会や学校、市民団体が一体となって、取り組んでいる様子が印象的でした。学校でジェンダーバイアスを繰り返し学んだ子どもたちが、男女共同参画の視点を「当たり前」にもって大人になることを想像すると、社会が変わる予感がして、ワクワクします。高崎市の未来がとても楽しみです。貴重なお話をありがとうございました。

「紹介したいまち!」は今回が最後ですが、またご紹介したい様々な情報を見つけて、皆さんにお届けしたいと思います!ありがとうございました。

最終回

フレンテスタッフエッセイ

おうち時間「心のありよう～春は新しい始まりの季節～」

梅の花が咲きはじめ折々で春の兆しを感じられ始めました。旧暦では、1年の始まりは立春とされ、雨水(うすい)は本格的な雪解けが始まる季節です。山に積もった雪がゆっくりと解け出して、大地を潤す。現代ではまだまだ寒さを感じる月日ですが、春の温かな雨と陽射しをあびて草木が芽吹き、つぼみが少しずつふくらむ移ろいに気分がぐっとあがります。冬眠する虫や動物だけではなく、人もまた目覚める感覚。やわらかな陽射しは、寒さで少し縮こまっていた体をほぐしてくれるようで気持ちがよいです。

歳を重ねるごとに「やること」が増えて毎日があっという間に過ぎてしまいます。一日の終わりにできなかったストレスを抱えてしまうことも少なくありません。

自宅の生物たちも休眠し一年で一番静かな冬、暖かい部屋で過ごす冬ごもりのあいだに一年を振り返り今年の計画を思案します。「やらなきゃいけない」思い込み。「やらなきゃ」「行かなきゃ」と余計な時間やエネルギーを費やすことを見直してみ、そうしなくてもいっか、と思えたら少しシンプルに整理できる気がします。今の自分はどうか。時と状況で常に変わるものですが、自分にとって心地よい暮らしから、生き方の輪郭も折々みえてくるのだと思います。

もともと、ものごとを「楽しむ」という発想にうといので、自分の人生のなかにある身近な楽しいことに目を向けて、楽しんでみようとはじめています。子どもの頃からずっとやりたかった些細なこともこの際だからチャレンジしてみようと。何度か挫折したことも、また始めてみようかと。何事も結果はどうあれ、最初の一步がでる年に。そして身軽であり、時折立ち止まり、景色を眺め楽しむ余裕をもちたいな。

庭も休眠状態に入り、何ひとつ育たないように見える冬も、大地は着々と力を蓄えなおし、翌年の恵みに備えています。目に見えないところで、特別なものがゆっくりと育っています。人の内面も同じなのかも。

長引く先の見通しが立たない状況下、思いがけない大きな変化に動かされることは心に大きな負担を強いられますが、明るい道に向かって進もうとできるのは人だけです。根源的なものは変えられなくても、心の持ちようできっと新たな道を開くことができるのだと思います。

この春も、また心機一転ははじめよう。シンプルで素朴な日常の楽しみのなかにも新しい喜びがみつけられるといいな。さて、どんな一年になることやら。

このコーナーでは、フレンテみえのスタッフが日常を過ごしながら感じていることを自由に綴ってまいりました。いかがでしたか？心を言葉にして綴ることは、自分らしさを見つめなおすことでもあります。こんな時期だからこそ、皆さまもぜひ。

フレンテみえって、なに？

三重県の男女共同参画社会を推進する拠点施設として津市の三重県総合文化センター内に平成6年オープン。情報発信・研修学習・相談・調査研究・参画交流および人材育成の「6本の柱」で、様々な事業を展開しています。ぜひ皆さま、お気軽にお立ち寄りください！

～詳しい情報はホームページまで～

フレンテみえ

生き方・家族・人間関係・離婚・職場 などなど…男女がともに自分らしく生きるために、様々な悩みの相談をお受けします

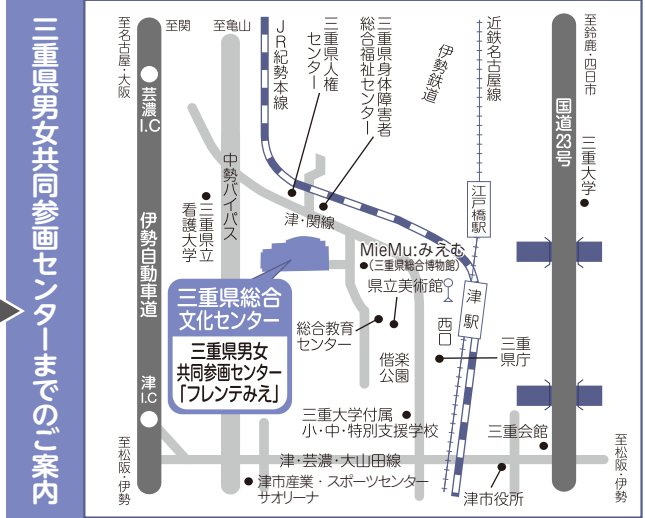
女性のための電話相談 秘密厳守・相談無料

フレンテみえ相談室 **専用ダイヤル 059-233-1133**

相談時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
朝 9:00～12:00	休館日	●	●	●	●	●	●	●
昼 13:00～15:30	休館日	●	—	—	●	●	●	●
夜 17:00～19:00	※	—	—	●	—	—	—	—

※祝日の場合「朝・昼」相談あり(翌平日が休館日)

※本館の男女共同参画センターは、男女共同参画センターの機能の一部として、女性のための電話相談室を併設しています。



休館日 毎週月曜日、年末年始(12月29日から1月3日まで)
交通 ■バス/津駅西口1番のりばから約5分
■徒歩/津駅西口から約25分
■自家用車/伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分
※駐車場は1400台(無料)。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

発行 **三重県総合文化センター**
三重県男女共同参画センター フレンテみえ
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地
TEL:059-233-1130 FAX:059-233-1135
URL <http://www.center-mie.or.jp/frente/>
E-mail: frente@center-mie.or.jp

フレンテみえ相談室のご案内 (切り取ってご利用ください)



再生紙を使用しています。